

平成 29 年 4 月吉日

保険調剤薬局各位

和歌山労災病院

薬剤部

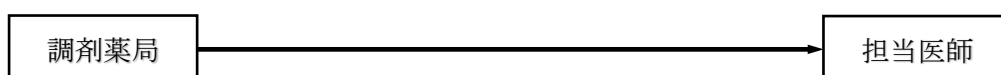
薬局から服薬情報提供書（トレーシングレポート）の運用について

平素より、院外処方せんの応需におきましてご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、保険薬局におかれましては、日頃より疑義のある処方について処方医師に対して疑義照会を行っていることと思います。しかし、患者からの聞き取り情報（内服薬のアドヒアランス状況や OTC、健康食品の使用に関する情報）など、即時性の低い情報について、処方医師へフィードバックすることは困難でした。また、これらの情報の中には、診療上、重要な情報が含まれる場合もあります。

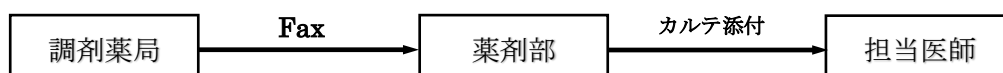
そこで和歌山労災病院では服薬情報提供書（トレーシングレポート）を作成しました。保険薬局にて即時性は低いものの「処方医師への提供が望ましい」と判断された内容について **Fax** にて服薬情報提供書を薬剤部まで送信願います。薬剤部にて集約したのち、医師へ情報伝達を行い情報の共有化を図ります。

地域保険薬局との連携を推進することで、適正で安全な薬物療法推進につながるものと考えます。保険薬局各位のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【通常の疑義照会：緊急性を要する連絡】



【トレーシングレポート：緊急性を要しない連絡】



※Fax による情報提供は疑義照会ではありません。次回来院時など、医師のカルテ閲覧時に情報伝達されます。緊急性を要する連絡は通常の疑義照会手順で行ってください。